

保健所における HIV 即日検査導入の試みとその効果

シマ タカコ シンキ ミユキ コンドウ マキコ
 嶋 貴子* 一色 ミユキ^{2*} 近藤 真規子*
 ツカダ ミツオ シオミ シゲキ イマイ ミツノブ
 塚田 三夫^{2*} 潮見 重毅^{2*} 今井 光信*

目的 HIV 検査をより受けやすくするための試みの一つとして、検査を受けたその日に HIV スクリーニング検査結果を通知する「HIV 即日検査」を保健所の HIV 検査に導入し、その効果と実施に伴う問題点等を明らかにするため研究を行った。

方法 栃木県南健康福祉センターにおいて2003年1月より、通常の HIV 検査と平行して試験的に即日検査を導入し、即日検査導入前・後の受検者数や受検者層等の比較、また対照として選択した他保健所の HIV 検査受検者数の動向と比較し、即日検査の効果と影響について検討した。即日検査実施の情報についてはホームページ「HIV 検査・相談マップ」に掲載し、その効果についても検討した。

結果 栃木県南健康福祉センターにおける HIV 検査数は、即日検査導入前の2002年は130件であったのに対し、即日検査導入後の2003年は453件と3.5倍に増加した。また、そのうちの94%が即日検査を希望した。即日検査404件中5件がスクリーニング検査陽性となり、確認検査の結果、1例が HIV 陽性、4例が偽陽性（偽陽性率1%）と判定された。

HIV 検査と同時に実施している性感染症検査の受検率は、即日検査の導入後には梅毒抗体検査（即日結果通知可）が77%から63%に、性器クラミジア抗体検査（即日結果通知不可）が76%から33%に減少したが、HIV 受検者が大幅に増加したため、受検者実数としては増加した。受検者へのアンケート調査結果から、受検者の61%がホームページ「HIV 検査・相談マップ」をみて受検していることが分かった。

同時期における即日検査を導入していない栃木県内の他保健所の HIV 検査数の増加率は0.9~1.0倍、全国保健所 HIV 検査件数の増加率は1.2倍であった。

結論 即日検査は受検者にとって需要の高い検査であり、保健所 HIV 検査への即日検査導入は HIV 受検者数の増加に繋がる可能性の高いことが分かった。また、ホームページに「HIV 検査・相談マップ」による継続的な情報提供が受検者増に有効であることが分かった。

しかしながら、HIV 迅速検査キットの偽陽性率が約1%と高いため、検査前・後の説明やスクリーニング検査陽性者へのサポート体制が重要となること、また、即日検査と性感染症検査とを同時に実施する場合には、性感染症検査の受検率の低下を抑えるための対策が必要となる等の課題も明らかとなった。

Key words : HIV, 保健所 HIV 検査, 即日検査, 偽陽性, 性感染症検査

* 神奈川県衛生研究所

^{2*} 栃木県南健康福祉センター

連絡先：〒253-0087 神奈川県茅ヶ崎市下町屋
 1-3-1 神奈川県衛生研究所 嶋 貴子